

科目名: 仕事の上手な教え方		科目コード	HA92
科目主査: 小野 洋子 担当講師: 小野 洋子		単位	2
授業の目的と概要		グループワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
<p>本科目は、「教えることの科学と技術」を学ぶ科目です。ビジネスで先輩が後輩に、地域活動で経験者が未経験者に、日常的に家族や友達同士などのさまざまな場面で、「教える」という活動が行われています。しかし、どのように教えるとういことについては、これまで学ぶ機会がなかったのではないのでしょうか。本科目では、インストラクショナルデザイン(ID)が提示する「教える技能」の考え方を理解し、さまざまな場面で活用できるようになることを目標としています。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったらマーキングし、質問できるようにしておきましょう。日常場面における「教え手」「学び手」の具体的な経験をふり返り、自身の教える素養について整理しておいてください。		
テキスト	『上手な教え方の教科書』向後 千春, 技術評論社, 2015年		
この科目の到達目標	<p>①インストラクショナルデザイン(ID)の理論を学び、「教える」ことの意味を理解し、IDの知識・技術を後輩指導等の実践に活かすことができる。</p> <p>②「教える」という行為を科学的にとらえ、指導プランを設計・開発・実施・評価できるようになることを目指す。</p>		
成績評価の方法	授業中にインストラクショナルデザイン(ID)の知識を活用して、短い演習プランを作成し、実施します。プラン作成・実施は評価の対象となります。最終試験では知識の確認と実践から得た学びや今後の課題を明らかにします。		
事後学習	スクーリングでの体験による気づきから、各自の日常生活における「教え手」「学び手」のあり方を見直し、改善点を踏まえて実践に移してみてください。また、興味を持った分野については参考文献を読み、さらに理解を深めてください。		
事後学習の参考文献	<p>『世界一わかりやすい教える技術』向後 千春, 技術評論社, 2019年</p> <p>『研修デザインハンドブック』中村 文子, ポブ・バイク, 日本能率協会マネジメントセンター, 2018年</p> <p>『教育の方法と技術: 主体的・対話的で深い学びをつくるインストラクショナルデザイン』稲垣 忠(編著), 北大路書房, 2019年</p>		
<p>スクーリング受講時に用意するもの</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 赤ペン <input checked="" type="checkbox"/> 自身の教え方をふり返って気付いた点などのメモ</p>			